

## 高砂 RC・高砂青松 RC 合同例会

令和3年12月17日(金)

### 講演「高砂市の現状と課題」



高砂市顧問 佐伯 武彦様をお招きし、「高砂市の現状と課題」と題し、お話いただきました。



講師  
高砂市顧問  
佐伯 武彦様

### 講師紹介



高砂 RC  
森本副会長

### 謝辞



高砂青松 RC  
松下 和雄会長



### 例会記録 2021.12.17 (金) 通算 2011 回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」

出席報告 12月 1日 会員数40名 欠席者 6名 出席率 82.35% (修正による)  
(この内出席免除者 17名)  
12月17日 会員数40名 欠席者 8名 実出席者数19名  
(この内出席免除者 17名) 出席率 70.37%

来訪ロータリアン (12月15日分) 幸田 精久会員 (姫路南 RC)



1. 地区より

- (1) ロータリー研修デーのお礼が届いています。
- (2) ハイライトよねやま Vol.261 が届いています。
- (3) ロータリー文庫デジタル化済資料廃棄についてのご案内が届いています。

2. 高砂市学校保健会より

佐野会員が寄稿された「保健だより」が届いています。

3. 姫路南ロータリークラブより

例会変更のお知らせが届いています。

回覧いたしますのでご確認下さい。

来週の22日の例会は今年度最終の例会となります。

年代別協議会となっています。

新入会員候補者を増やしていく機会となりますので多数のご出席をお願い致します。



後藤 純次 様 (高砂RC会長)

高砂市顧問(政策アドバイザー) 佐伯武彦様ようこそお越し下さいました。

本日のご講演よろしくお願ひ致します。

高木 史郎 様 (高砂RC幹事)

本日はよろしくお願ひ致します。

小西 文孝	櫻井 宣孝	原 久美
小高 徳之	吉川 弘	京谷 慎平
中谷 利幸	都倉 隆宏	内海 薫
庄司 武	村上 則宏	佐野 栄作
三枝 丈次	森本 匡裕	

合同例会を祝して。

佐伯様本日はよろしくお願ひ申し上げます。



新会員紹介が行われました。

◇入江 啓太 幹事



会長挨拶

皆さま、お忙しいところ、また新種オミクロン株が増えつつある状況の中、高砂青松RC・高砂RC合同例会に多数ご参加いただきまして誠にありがとうございます。また元々9月17日開催予定としていた合同例会が延期となり、本日開催となったことをお詫び申し上げます。



高砂ロータリークラブ会長 後藤 純次 様

振り返ると新型コロナウイルスもパンデミックと言われ2年近くになり、この間に大きな変化があったよ

うに思います。コロナ前から時代の変化(デジタル化等)は進んでいましたが、このコロナで一気に背中を押され大きく変化したように思います。

どこの世界でもオンライン会議が多くなり、ロータリーの研修/例会もオンライン、ハイブリッド開催等、様々な取り組みをされるようになりました。オンラインになったことにより移動時間の削減、会社等では出張が少なくなり移動費用も削減でき、プラス効果も出ているように思います。ただ便利になった反面失うものもあり、大きな部分で言うと対面での会話が少なくなりました。オンラインでは対面にはかなわないことも多く、対面だからこそその“出会いがあり学び”も多いと思います。

そういう観点からかもしれませんが、先日開催されましたロータリー研修デーは対面開催となり、来年3月5日・6日の地区大会も対面となり、元の状態に近づいているのかなぁと思います。ただ元に戻るにしても、過去よりプラス変化し、(時代の流れのええとこ取りして)発展していくのだらうと思います。

当高砂RCは70年の節目の年にあたります。また日本のロータリーは100年となり、ロータリーにとってもターニングポイントに来たように思います。伝統/歴史あるロータリーの魅力をもっともっと磨き、それを次世代につなぎ、未来発展に向け変革実施していく時期に来ているのだと思います。

このあと佐伯様にご講演いただくタイトルは『高砂市の現状と課題』となっております。ロータリーについても課題と言えば毎度言われるのが会員増強でもあり、純増が出来なくても維持していくことが大切でもあり、両クラブにとっても会員増強が大きなテーマになっているように思います。

入会したいと思われるクラブ、入会した方が学び多く、魅力を感じて、長く定着出来るようなクラブを目指したいと思います。当クラブの今年のテーマは『つながりを大切に』です。我々の世代が次の世代につなげていかねばならない課題が多くあります。本日のご講演がロータリークラブ発展にとって、大きなヒントになるように思います。

# 増強・職業分類委員会担当例会

## 年代別協議会

年代別協議会が行われました。



令和3年12月22日(水)



増強・職業分類委員会  
青柳 淳委員長



## 幹事報告

Secretary

幹事報告 第17回(通算2012回)

1. 地区より  
12月5日に開催されたロータリー研修デーの動画が地区ホームページにアップされていますので、それについてのお知らせが届いています。
2. バキオ基金より  
2020年度事業報告書ならびに基金への寄付のお願いが届いています。



回覧いたしますのでご確認下さい。

本日は2021年の最終例会となりました。コロナや様々な事があり、慣れない運営ではございましたがご協力いただきありがとうございました。  
次回例会は1月12日に都倉市長をお招きしての2022年最初の例会となりますので宜しくお願いいたします。来年も引き続きよろしくお願いたします。

## ニコニコ報告

Donation

12月22日

**松下 和雄**  
今年最後の例会となりました。  
来年もよろしく御願致します。

**西田 光衛**  
今年一年やっと過ぎました。  
皆さんよいお年をお迎え下さい。

志方	正昭	小西	文孝	櫻井	宣孝
田中	浩行	濱田	喜重	川崎	一生
柿木	國夫	内海	薫	吉川	弘
村上	則宏	佐野	栄作	中谷	利幸
京谷	慎平	大村	裕史	大橋	卓司
森本	匡裕	伊藤	勝之	西中	亮二
川口	英之	矢野	聡	青柳	淳
井野	隆弘	三枝	丈次		

**廣瀬 明正**  
今年はお世話になりました。  
どうか皆様よい新年をお迎え下さい。

**庄司 武**  
青松ロータリーゴルフ同好会で優勝しました。おまけに「エナジー」のペアマッサージ(足つぼ)券までいただき、夫婦でしっかりマッサージしてもらいます。ありがとうございました。

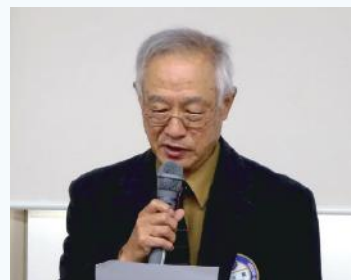
今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いたします。



## 例会記録 2021.12.22 (水) 通算2012回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」

出席報告	12月8日	会員数40名	欠席者6名	出席率82.35%(修正による)
		(この内出席免除者17名)		
	12月22日	会員数40名	欠席者7名	実出席者数33名
		(この内出席免除者17名)		出席率91.66%



米山功労者表彰



## 委員会報告 or その他連絡事項

12月22日

### 地区職業奉仕委員会

◇濱田 喜重会員



## 会長の時間

President

12月22日

今年最後の例会となりました。  
今年も昨年同様、コロナで始まりコロナで終わってしまう様な感じですが、日本では徐々に感染者数が減り、重症者数も減ってきたように思います。まだまだ予断は許さない状況に変わりはありませんが、もうすぐクリスマスなので今日は気分転換にクリスマスにまつわる話をさせて頂きます。



日本では明治ごろから始まったとされるクリスマスは、商業的に最も重要な催しの一つになっています。クリスマスイブとクリスマス当日を合わせた2日間が、日本経済にどれほどの影響を与えているか。一般社団法人日本記念日協会の発表によると、現在のクリスマスにおける経済効果は7000億円とされています。

ちなみに2019年のハロウィン：1155億円、ホワイトデー：490億円、母の日：1205億円、バレンタインデー：1260億円とクリスマスの経済効果は他の記念日を圧倒しています。果たしてコロナ禍での今年はどうでしょうか？

また、クリスマスの食卓はチキンという認識がありますが、欧米諸国ではクリスマスのディナーといえば、七面鳥の丸焼きです。17世紀にヨーロッパからアメリカへ向かった移住民たちが、現地で飢えをしのぐ為に捕まえて食べたのが七面鳥でした。そして、現地人であったインディアンからも七面鳥が与えられ、移住民たちは飢えずに済んだそうです。七面鳥は単なるごちそうではなく、アメリカ発の歴史ある縁起物だったそうです。その為、七面鳥は感謝祭、クリスマス、結婚式などのお祝いの際には欠かせない食べ物となりました。

クリスマス自体が輸入の文化ですので、それに付随して、クリスマスには七面鳥や鶏肉を食べる認識が一緒に入ってきました。それをケンタッキーフライドチキンがうまく広告に取り入れたことにより、日本ではなんとなく、「クリスマス＝チキン」という認識が定着したようです。

そして、クリスマス飾りの定番である靴下。なぜサンタクロースが靴下にプレゼントを入れてくれるということになったのでしょうか？

これは、サンタクロースの起源となったのは、聖ニコラウスの伝説です。4世紀ごろの東ローマ帝国、小アジア南西部（現在のトルコ）に位置するミラ（ミュラ）の司教だったニコラウスは、日頃から困った人や貧しい人を助け歩いた慈悲深い人であったようです。ある日、彼は貧しさのあまり3人の娘を嫁がせられず長女を娼婦に売らないと持参金ができないと考えている一家の存在を知り、真夜中にその家を訪れ、金貨を投げ入れたそうです。その時、たまたま暖炉に干していた靴下の中に入っていたという。そのニコラウスは、貧しい人々を救い、善行を積み、後に学問の守護聖人と崇められました。聖ニコラウスは、オランダ語で「シンタクラース」と発音し、14世紀頃から聖ニコラウスの命日（12月6日）を「シンタクラース祭」として祝うようになりました。

その後アメリカへ移住したオランダ移民によって、この祝日や逸話が持ち込まれ、1882年ニューヨークの神学者クレメント・ムーアが「聖ニコラウスの訪問」という物語を発表しました。

この本には、トナカイのソリに乗り子供たちの靴下にプレゼントをする、優しいひげのおじさんが描かれていました。それが現代のサンタクロースのモデルになったとされています。

私もロータリーの奉仕活動を通じてサンタクロースになれるように努力しようと思いました。

## ◇ プログラム予定 ◇

1月 12日 (水)	卓話 都倉達殊 高砂市長
1月 22日 (土)	新年家族例会
1月 26日 (水)	国際奉仕委員会担当
2月 5日 (土)	東播第2グループ I.M. (ホスト加古川中央 RC)

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 松下和雄 幹事 入江啓太 クラブ会報・広報・記録委員長 坂口嘉久

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500